

平成 29 年度 第 2 回 新潟市白根地区公民館運営審議会会議概要

新潟市白根地区公民館

実施日時	平成 29 年度 第 2 回運営審議会 平成 30 年 2 月 20 日 午前 10 時 00 分から		
会場	白根学習館 2 階 ルーム 1・2	傍聴人	0 人
出席者	委員	金塚一明、吉田悦郎、今井美樹子、山崎らん子、笹川邦子、富井志穂、高橋直廣、杉柳初枝	
	事務局	白根地区公民館	牛腸まゆみ、古川正利、野崎義和、若林千陽、佐藤裕子、茅原郁代、関口妙子、星野美帆
		味方地区公民館	渡辺哲哉、笹川久雄
		月潟地区公民館	川又弥須宏、鈴木敏仁
次第	<p>1 開 会</p> <p>2 館長あいさつ <span style="float: right;">白根地区公民館長</span></p> <p>3 議長あいさつ</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 平成 29 年度公民館事業報告（中間）について（事業評価）</p> <p>(2) 平成 30 年度新潟市公民館事業の基本方針（案）について</p> <p>(3) 南区成人式 意向アンケート調査について</p> <p>(4) 公民館事業の課題について</p> <p>(5) その他</p> <p>5 その他（連絡事項等）</p> <p>味方地区公民館の図書室と分館長について</p> <p>正副議長会議報告について</p> <p>公民館パンフレットについて</p> <p>6 閉 会</p>		
事務局	<p>皆さんおはようございます。本日はお忙しいところご出席まことにありがとうございます。</p> <p>私は、本日の全体進行を務めさせていただきます白根地区公民館の古川といたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>これより平成 29 年度第 2 回新潟市白根地区公民館運営審議会を開催いたします。</p> <p>最初にお願いですが、本日の会議につきまして会議録を作成する必要がありますので、録音をさせていただきますことをご了解お願いいたします。</p> <p>また、本日は出席者でございますが、土屋委員と平原委員が欠席ですので、10 名中 8 名の委員からご出席をいただいております。新潟市公民館条例規則第 14 条により、当審議会は成立していることを報告いたします。</p> <p>なお、また傍聴者はありません。</p> <p>はじめに牛腸白根地区公民館長から、平成 30 年度の予算概要を含めてあいさつを申し上げます。</p>		

白根地区公民館長挨拶

おはようございます。本日はご多用のところ、平成 29 年度第 2 回白根地区公民館運営審議会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

本日の主な議題は、年度途中ですけれども、1 月末現在の「平成 29 年度南区公民館事業経過報告について」及び「平成 30 年度新潟市公民館事業の基本方針（案）」を主な議題としております。後ほど各担当からそれぞれの事業について報告させていただきます。

議題に入る前に少しお時間をいただきまして、平成 30 年度予算状況をお話させていただきます。

今日、「公民館当初予算の概要」という資料をお配りしてあるのですが、公民館の事業の前に、本市の状況ですけれども、平成 30 年度一般会計予算は総額で 3,802 億円です。前年度比 173 億円減のマイナス 4.4 パーセントになっております。

予算編成のポイントですが、今後急速に進む人口減少・少子高齢化に向けた新潟未来ビジョンなど本市の重点施策の推進と、安心して健康な暮らしとまちの発展を実現する安心政令市新潟の確立に向けた取組の強化など、本市が目指す方向に沿った事業へ重点的に配分しております。

また、市税と一般財源が伸び悩む中で、組織や職員配置の適正化など、行政財政改革を進め、真に必要な自己選択を徹底し、限られた経営資源を重点課題へ配分することで、持続可能なまちづくりの推進と収支均衡を堅持した財政運営を予算編成の基本的な考え方としております。

また、教育委員会に係る平成 30 年度予算はおおよそ 600 億円程度。前年度比おおよそ 7 億 3,000 万円の減でマイナス 1.2 パーセントになっております。

続きまして、公民館予算の概要です。こちらは先ほどの資料を見ながらお願いいたします。

平成 30 年度公民館当初予算の概要ですが、表の歳出①の小計 3,035 万円が公民館の活動事業費になります。昨年と比較しますと 312 万円減額になっております。パーセントで 90.7 パーセントとなっております。

下の表が南区の三つの公民館のかかる予算概要になります。30 年度の公民館事業費は 323 万円。昨年度予算の 85 パーセントです。

各事業の主なものとして、地域コミュニティ活動活性化支援事業はコミュニティ・コーディネーター養成講座や地域学講座があります。また、家庭教育振興事業にはゆりかご学級など各種家庭教育学級があります。

一番下の表が南区の公民館・学習館の施設管理費となります。本市の予算編成のポイントでもお話しさせていただきましたが、事業選択の徹底ということで事業の個別査定や 31 年度廃止や見直しの事業など、事業費、維持費、維持管理費とも非常に厳しい状況になっております。コミュニティの活性化、家庭教育の支援、青少年など各世代の学び場の提供と支援を重点的に実施してまいりたいと思います。

また、ここに記載しておりませんが、南区が所管する既存事業として白根学習館まつり、成人式、月形町との児童交流事業など、合併前から引き継いでいる事業が計上され

	<p>ております。</p> <p>新年度は今年度以上に厳しい状況です。各公民館とも創意工夫を重ね努力してまいりたいと思います。</p> <p>本日は委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
議長あいさつ	<p>(司 会)</p> <p>続いて、次第第3ですが、高橋議長からごあいさつをお願いします。</p> <p>(高橋議長)</p> <p>おはようございます。第2回の公民館運営審議会をこれから始めるわけなのですが、今ほどの館長の話にもありましたように、来年度の予算をお聞きしますと、新潟市は大変な財政難です。基金をほとんど取り崩してしまったという中で119億円の財源不足ということです。</p> <p>そして、予算内示があつて、今の説明にもありましたように、事業費だけで312万円減額というのは本当に大変な減額だと私は思っています。今までのような事業はできないことになろうかと。維持管理費で8,578万円あまりの減額。この施設もそろそろ20年を迎える施設だと思うのですが、本来であれば維持管理費を増やしていかななくてはいけない時期。月潟、味方も同じわけですが、それが減額されている。館長の話にもあったように、本当に危機的な状況が続いています。私が在職していたころから大変な財政難といっていました。私が辞めてからもずっと続いているということは、職員の方々は本当に大変だろうなという気がしています。</p> <p>財源がないからもう維持管理はできないというわけにはいかないと思いますので、お金がない中でも工夫をしながらこの施設、特に快適だと言われている学習館はより快適に、ほかの施設も同じだと思います。事業についてはより知恵を出し合つて、感動の得られる事業展開、リピーターとしてまた継続できるような事業展開が必要になってくると思われまふ。</p> <p>そういった意味で、皆様方から今日の議題あるいは質疑の中でいいご提案がありましたら、何なりと職員にアドバイスをいただければと思います。あるいは、質問することによってまた新たな疑問点等が湧くということになるかもしれませんので、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思つております。今日は短い時間ではありますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>(司 会)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以降の進行につきましては、高橋議長からお願いいたします。</p>
高橋議長	<p>ここから進行を務めさせていただきます。</p> <p>議事第4の議題の(1)平成29年度公民館事業報告(中間)について(事業評価)について、事務局のほうから説明をお願いいたします。</p>
<p>4 議題</p> <p>(1)平成29年度公民館事業報告(中間)について(事業評価)</p>	

事務局より白根地区公民館，味方地区公民館，月潟地区公民館の順に各館ごとに説明。	
事務局	<p>説明に入る前に、今日のお配りした資料の確認をさせていただきます。事前に配布した資料については、資料1、資料2、資料3になります。今回資料3のアンケート調査について差し替えが一部とアンケートの様式がついておりませんでしたので、差し替えをお願いしたいと思います。</p> <p>本日の配付資料ですが、先ほど館長の説明にありました「平成30年度公民館当初予算の概要」、「公民館事業の課題資料」ということで、月潟地区公民館から減少する児童向けの講座の受講者数、「正副議長会議資料」。また、公民館のパンフレットについて当初白根地区公民館のパンフレットを同封しましたが、若干変更がありましたので、味方、月潟を含めて3館分のパンフレット。そして座席表になります。よろしくお願いたします。味方地区公民館の休室日・開室時間変更のお知らせも机上に置いてありますので、よろしくお願いたします。</p>
白根地区公民館 館長	<p>事業報告になりますが、白根地区公民館は各重点施策の主なものを一点ずつ報告させていただきます。</p> <p>それでは、まず一つ目の地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業としまして「白根学習館まつり」を報告させていただきます。</p>
事務局	<p>白根地区公民館の茅原です。「白根学習館まつり」について報告いたします。白根学習館まつりは区民の文化活動の親交を図るために、日ごろの活動成果の発表と鑑賞の場を提供すること目的として開催している事業です。白根学習館まつりは大きく三つに分かれておりまして、こちらのラスベックホールを会場に今年度は10月14日、15日に作品を展示、11月3日から5日まで白根絞り展、11月23日に芸能発表会と白根地域生活センターでは囲碁大会を行いました。</p> <p>芸能発表会ではダンスやコーラス、舞踊団体のほかにも、小学生の芸能教室などの発表もあり、世代間交流の場となっており、とてもいい活動になっております。</p>
白根地区公民館 館長	<p>二つ目の重点項目の学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業といたしまして、3番の茨曾根樽ばやし芸能教室を報告させていただきます。</p>
事務局	<p>地域の伝統芸能の継承を地域とともに継続して続けるようにというので実施しておりまして、6月から11月まで茨曾根小学校の体育館を会場として、全15回シリーズで夜間開催いたしました。今までですと夏休み期間中の日中、学校の先生などが勤務している時間のときに行って、学校の支援なども受けながら開催してきたのですが、今年度からは、地域茨曾根の公民館推進委員の皆さんやコミュニティ協議会などを主体に事業を運営することができました。</p> <p>現役で活動している指導者に替わったことで、本格的な樽囃子の練習をすることができ、今まで練習曲は茨曾根音頭だけ練習していたのですが、お笑いのブルズンちえみのBGMなど今までにない練習曲も取り入れることで、子どもたちも楽しみながらやる気を出して取り組みました。</p> <p>練習日や各種発表会の出席率も高く真面目に取り組み、最後白根学習館まつりでの発表会では、地域の大人も子どもたちと一緒にステージに立って披露することができて大</p>

	<p>変よかったと思っております。</p>
白根地区公民館 館長	<p>続いて、三つ目の重点施策になりますが、4番の「孫育て講座」。こちらはまだ開催していないのですが、すでに開催内容等決まっておりますので、その報告をさせていただきます。</p>
事務局	<p>担当をしております星野と申します。よろしくお願いたします。皆様のお手元にチラシのコピーがあるかと思しますので、ご覧なりながら報告を聞いていただければと思います。</p> <p>3月1日、8日の2回連続講座でおじいちゃん、おばあちゃんを対象に開催します。今現在申込者数は18人で、当初定員は15人としていましたが、先生のご厚意により20人までとしました。この講座のねらいの一つ目は、今と昔の子育ての違いを知り、親世代と知識を共有できるようにするという事。二つ目はコミュニケーションの取り方を学ぶ。三つ目は地域を含めみんなで子育てをすると、お子様の大切さを知ることとしています。</p> <p>講座1回目は助産師さんから今の子育て方を具体的にお話いただきますが、その中で助産師さんはたくさんのお母さんの相談を受けられていますので、今どきのお母さんの様子や悩みなど実体験を含めましてお話いただきたいと思っております。2回目はグループワークを通して、家族の中での立場や役割を考える時間を設け、コミュニケーションの取り方について学ぶ内容となっております。どちらの回ともお茶を飲みながら話しやすい場とし、グループワークを通して自分なりの答えを見つけていただけるような講座にしたいと思っております。</p>
白根地区公民館 館長	<p>続いて、四つ目の重点項目。青少年の生きる力を育む事業としまして、3番目の「こどもクッキング」を報告させていただきます。</p>
事務局	<p>「こどもクッキング」を担当しました白根地区公民館の佐藤です。よろしくお願いたします。こちらの事業の目的ですが、普段の食生活において偏食になりがちな子どもたちに自ら料理する体験を通じて、食に関する興味や関心を持ってもらうことになっております。</p> <p>食生活改善推進委員の方を講師に6月から月に一度、計4回開催しました。最終回には去年に引き続き保護者のかたを招いての食事会を開催しました。毎年参加する児童も多く、保護者からも好評いただいております。対象が区内の小学3年生以上なので、他校の児童との仲間づくりにもつながっております。</p>
白根地区公民館 館長	<p>五つ目の重点項目。高齢者の学習や社会参加を支援する事業としまして、4番の「大鷲シニアクラブ」を報告させていただきます。</p>
事務局	<p>白根地区公民館の大郷・大鷲地区を担当しております関口と申します。よろしくお願いたします。「大鷲シニアクラブ」についてご報告いたします。大郷と鷲巻の二つの地域の高齢者の皆さんが地域の枠を超えて、大鷲小学校を会場に生きがいを見出し、心身ともに健康で豊かな人生を送るための学習の機会を提供することを目的としております。</p>

	<p>今年度は9月から今月2月まで6回開催をしております、2月は今週の金曜日が最終回となりまして、映写会と茶話会を皆さんで楽しく過ごす最後の会となります。毎回参加者は15人程度コンスタントに参加があり、1月もかなり雪が降ったりして厳しい天候だったのですが、皆さん、楽しみに参加してくださっています。</p> <p>大鷲小学校と大鷲小学校のコーディネーターの皆さんから会場の提供とまた運営についてのご協力をいただいております。大鷲小学校からは来年度から3年生の総合の時間に一緒に活動できる機会をつくって欲しいという要求があり、来年度の企画について子どもたちと一緒に体験できる企画を考えております。それを受けまして、試験的ではありますが1月に冬場の運動不足を解消しようということで、ラジオ体操を極めようという企画をいたしまして、3年生の児童もシニアの皆さんと一緒に体を動かして楽しい時間となりました。</p>
白根地区公民館 館長	<p>項目6番の1の「コミュニティ・コーディネーター養成講座」を報告させていただきます。</p>
事務局	<p>「コミュニティ・コーディネーター養成講座」担当の若林です。よろしくお願いいたします。コミュニティ・コーディネーター養成講座は昨年度に引き続いて、区内唯一の高校である白根高校生を対象に行いました。こちらの公民館事業報告にも書いてあるとおり、高校生が地域課題を語ることにより、地域の活性化を図り、地域に根差した人材を育成することを目的として行っております。今年は南区、特に白根高校のあります白根の歴史・文化を学ぶということで、白根紋子について学んだり、実際に作ったり、白根仏壇の製作現場を見学したりといったことを学び、学んだ成果として南区おみやげアイデアコンテストに出品することを目指してきました。先月、コンテストの結果が発表されまして、三つのグループが応募したのですが、そのうちの1グループが特別賞を受賞することができました。</p>
白根地区公民館 館長	<p>白根地区公民館は以上です。 続いて、味方地区公民館、お願いいたします。</p>
味方地区公民館 館長	<p>味方地区公民館の説明に入りますけれども、事業担当の笹川から説明させていただきます。</p>
事務局	<p>味方地区公民館の笹川です。味方地区公民館は5ページを見ていただきたいと思います。事業の一覧がありますが、事業のほとんどは終了しております、合計で41回、延べ数で3,300人が参加となっております。なお、参加人数には文化祭での来場者なども含めておりますので膨らんでおります。</p> <p>主な事業としては、実はまだ実施していないのですが、先ほどの3,300人に入っていないのですが、老人クラブの方々と今年春先に面談会を行いまして、お互いより連携を図っていこうという話を設けました。今年も25日に世代間交流レク大会ということで老人クラブの方々と小学生の子どもたちと一緒にレク大会を保護者も含めて三世代でやろうという計画をしております。今後は、より老人クラブと連携しながら事業を展開していきたいと考えております。</p>

白根地区公民館館長	続きます、月潟地区公民館、お願いいたします。
月潟地区公民館館長	月潟地区公民館の館長です。事業については担当の鈴木から説明させていただきます。
事務局	<p>月潟地区公民館の鈴木です。資料の6ページをご覧ください。この中から2点ご報告させていただきます。まず、重点1番の7「地区芸能祭」についてです。月潟の芸能祭は文化協会と共催して行っております。年々参加者は減り、それと同じように観覧者も減ってきていました。関係者からは、寂しくなったね、などの声も聞かれましたので、観覧者増加に向けて、無理を承知で保育園に園児出演の依頼をすることにしました。運良く園長から快諾をいただき、園児のお遊戯を披露してもらうことができました。そのほかに、学習館で活動しているグループの出演などもあり、前年以上に観覧者を集めることができました。</p> <p>続きます、重点5番の1「月寿教室」についてです。この事業は高齢者を対象に、生活に役立つ講義、実技、施設見学などの講座を年5回開催しております。この講座の受講者数は平成25年に103名いたものが、平成27年には52名まで減ってしまいました。平成28年度は75名と持ち直したものの、以前とは比べものにならないくらい減ってしまいました。そこで、受講者増加に向けて考えられる八つの対策を取り組みました。それは、チラシを施設に置いておくだけでなく、回覧板で回す、区役所だよりに掲載する、講師を地元や近隣の人材にお願いするなどでありました。これらの取り組みが功を奏しまして、今年度の受講者数は159名に達しました。前年から倍増することができました。今後も内容を工夫して多くの方から興味を持ってもらえる講座にしていきたいと思っています。</p> <p>(白根地区公民館館長)</p> <p>以上です。</p>
高橋議長	ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、皆さん方からご質問等がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。杉柳委員、お願いします。
杉柳委員	総合評価の中で、「A事業の拡大」となっておりますけれども、ところどころAがあるのですが、どのように拡大していくのかということを知りたいと思います。最後の月潟地区公民館のお話のように、こういうふうにして成果を得たというような感じで。これからの拡大ですので、どのようにやっていこうかなということ、それぞれお聞きしたいなと思います。
白根地区公民館館長	私がAをというのは、その事業に力を入れて、もちろん予算もそのまま、今、厳しい状態ですので増やすことはできませんが、今の状態でもっと地域の方とか、子どもの事業もあるのですが、PRを重点的に行って参加者を増やしたいなと。もっと力を入れて。という意味でAを付けたものです。ついではないのですが、この場を借りてお話しさせていただくと、Cを付けたものは事業をやめるという意味ではなくて、形を公民館主体から、もう少し地域なり、関係団体へ移行していってほしいなという思いを込め

	てCを付けたものがほとんどですので、もう事業をやめるとかという意味で付けたものではございませんので、その点も付け加えさせていただきたいと思います。
高橋議長	主な事業で、これをどうするのかという質問だったような気がするのだけれども。
杉柳委員	こちらは「1月31日現在」となっておりますけれども、1ページですけれども、2月18日と過ぎていきますけれども、その中の参加人数の報告はまだきていないのでしょうか。それから、月潟地区の2月4日、だいぶ過ぎていきますけれども、それも参加人数を聞きたいなと思います。
白根地区公民館長	今、2月20日なのですけれども、資料をまとめる都合がありまして、終わっているものもありますけれども、実施状況の中には申し訳ないのですけれども、訂正することができなかったもので、口頭でもよろしいですか。
杉柳委員	それをお聞きしたかったのです。
事務局	小林地区の卓球大会についてご報告いたします。今年度は、昨年度よりも参加チームが増えまして、220人の参加がありました。昨年度はちなみに100人になっています。
高橋議長	月潟は。
事務局	9番の歴史探訪については、2月4日に約30名の方が。
杉柳委員	ありがとうございました。
(2) 平成30年度新潟市公民館事業の基本方針(案)について	
高橋議長	ほかにございますか。最後に一括でも受け付けますので、とりあえずこの説明に関しての質問は打ち切らせていただいて、議題(2)平成30年度新潟市公民館事業の基本方針(案)について、事務局から説明をお願いいたします。
白根地区公民館長	平成30年度新潟市公民館事業の基本方針(案)について、ご説明させていただきます。資料2をご覧ください。こちらは現時点では公民館内の事業委員会の案としての基本方針となります。新潟市公民館事業の方針は平成27年3月に策定された教育ビジョン第3期実施計画の方向性に基づく方針となっております。1「はじめに」の前段では、それぞれの政策の中で公民館、社会教育、生涯学習の位置づけや方向が示されています。そして中段の2「基本方針」の3項目、(1)「学びを通じた地域の絆づくりとコミュニティ活性化」、(2)「学・社・民の融合による地域の教育力の向上」、(3)「市民一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実」の三本の柱を踏まえ実施していく基本施策が次の3「基本施策」の6項目になります。 平成30年の基本方針(案)は、平成29年度の基本方針と基本的に変更はありません。変更になった箇所は4「事業実施と評価」の最後の行、3行目になりますが、「市財政が厳しい中、現在の事業規模が維持できるよう、さまざまな方策を検討します。」の一文が追加になったものです。これについては、公民館使用料や事業の事業料の歳入や事業計画を検討していくという意味を含めて、ここに追加したということになります。こ



	<p>こについても意見がいろいろ出ておりますが、ご意見がありましたら、ここの部分についてご意見をいただければと思います。</p>
高橋議長	<p>ただいまの説明に関して皆様方のご質問等がありましたらお願いいたします。これは新潟市の公民館の基本方針ですので、ここで直すというわけにいかないところで、説明を聞いて皆さん方のほうが来年度の公民館は、こういう方向でいくのかということを知ってもらうために、この部分はどうかというご質問をお願いしたいということです。それと一番最後にあった「財政が厳しい中で、この事業規模が維持できるよう、さまざまな方策を検討します。」という一文が入ったということですが、それらについても合わせてお願いできればと思います。</p>
杉柳委員	<p>最後の「事業実施と評価」の中の「方策を検討します」ということなのですが、今年度と同じようなことをやっていたら、また赤字になると思うのです。ですから、事業規模が維持できるようにというのはとても難しいことだと思います。そういうものはどういうふうに検討していくのでしょうか。</p>
白根地区公民館館長	<p>館長会議でも意見があったのですが、限られた財源の中で事業を考えていくのは当たり前なことなので、この一文は要らないのではないかという意見も出ました。おっしゃるように、同じようには多分できないかもしれないですが、一つの事業をするのにお金をかける、かけないというのはそれぞれ職員が工夫をしてかけないように、例えば講師をもう少し金額の低い講師をお願いするとか、PRの方法を変えとかということいろいろの方策を工夫しながら事業を実施していておりますので、この一文を入れたのは、検討するのは当たり前なのですが、ここに付けた意図は先ほどもお話ししましたが、財政が厳しい状況の中で、いろいろ財務のほうからも注文となり、いろいろな意見を付されておりますので、そういう意味を込めて、この一文を入れたということで、事業委員会のほうは検討しているところです。</p>
杉柳委員	<p>ありがとうございました。</p>
<p>(3) 南区成人式 意向アンケート調査について</p>	
高橋議長	<p>何か、ありませんか。ありがとうございました。 次の議題(3)南区成人式意向アンケート調査について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>私から資料3に基づいて、意向アンケート調査について説明させていただきます。意向調査になりましたが、今回、アンケート調査を行ったわけですが、1番として南区成人式への参加者には地域性もあり、北部地域、大郷・鷺巻・根岸・大通については例年出席率が低い状況になっています。そのため、成人式の参加の意向を探るということで今回調査させていただきました。合わせて今後開催される南区の成人式への参加意向を把握する。対象者が求める成人式のあり方を問う。それから、南区の成人式の実行委員を募るということで、今回実施させていただきました。</p> <p>調査の概要としては、平成9年4月2日から平成10年4月1日生まれが南区の成人式ですと、この次の5月3日に行われる成人者が対象です。続いて、平成10年4月2日生まれがその翌年の成人式の対象ということで、合計849名の対象者に対して調査し</p>

ました。調査は、郵送でアンケート用紙をお配りして返信用封筒で回収ということで、今回、返信用封筒に加えて新潟市のホームページ上で簡単申込みというのできるシステムがあって、併用という形でアンケートを実施しました。回収率は郵送分が 218 通、全体で 25.7 パーセント、簡単申込みが 37 件、4.3 パーセントで、合計で 30 パーセントになりました。3 ページ目のアンケート回収率をご覧ください。このアンケート回収率を見ますと参加に比例しているといえますか、回収率については白南中学校、白根第一中学校、月潟中学校出身者が 30 パーセントの回収率、中でも来年の対象者の白根地域の女子は 85.1 パーセント、ほぼ回答をいただいているというのが今回になります。それから、鷲巻・茨曾根・小林の男子は「回答なし」のところも若干あったということになります。

続いて、統計表の 1 ページを開いていただきまして、「新潟市の全体を対象とした成人式に参加しますか」という問いかけに対して、「参加する」が来年の対象者が 53.2 パーセント、次の対象者が 42.5 パーセント、全体で 47.1 パーセントが新潟市のものに参加しますということで、「参加しない」が来年度は 42.2 パーセント、次が 26.7 パーセント、次の年なので、まだ分からないというのが多いというのが来年度の参加者のアンケート結果になります。まだ分からないというのは今回のアンケートが 1 月を回答期限にしていたので、終わっていたものもあったので「わからない」という人は早めにアンケートを出した人が、「まだわからない」ということで、来年度対象者は 4.6 パーセントと、「まだわからない」が少なかったということになります。

また、「参加する」について今年度について白井中、白根北中、味方中、月潟中で 60 から 70 パーセントと高い状況が「参加する」ということになっています。来年度の対象者についても、白根北中、味方中で 57.6 パーセント、71.4 パーセントと高い確率という形で、「参加します」という意向を示しています。「参加しない」については、白南中が 77.8 パーセント、次年度は白井中が高い確率になっているということで、北部のほうは新潟市のほうは参加します、南部のほうは参加しないという傾向になっていると思います。

続いて、新潟市の成人式に参加しないという理由も聞いていまして、「南区の成人式に参加する」が白南中とか白根第一中が多かったという結果が出ています。

続いて、「南区の白根学習館で 5 月 3 日に区民を対象に成人式を開催していますが、知っていますか」という問いかけですが、「知っている」がほぼ 7 割の方が、やっているのは知っていますということで、旧白根市の中学校は 80 パーセントが知っているという形で回答を得ています。

続いて、「南区の 5 月 3 日に開催する成人式に参加しようと思いますか」という問いかけに関しては、①と②と答えさせていただきますが、「参加する」①が 37.6 パーセント、②で 33.1 パーセント、全体では 35 パーセント。「参加しない」も全体では同じ 35 パーセントで、「まだわからない」も 30 パーセントということで、「まだわからない」を足すと「参加する」者が多いのかなという回答になっています。この「参加する」の内訳としては、白南中の女子が 81.8 パーセントと多く、白井中の男子で 66.7 パーセン

トと高い参加する意向になっています。次年度については、これも白南中の女子が 66.7 パーセント、続いて白根第一中の女子が 50 パーセント台と高い確率になっています。続いて、「参加しない」について高いのが白根北中の女子 87.5 パーセント参加しませんという意向で、これも北部のほうが南区の成人式には参加しませんという回答をしていますし、「まだわからない」については翌年度の白井中の男子が 66.7 パーセントと味方中の男子が高い確率になっているという状況になります。

2 ページ目をご覧ください。「新潟市の全体を対象とした成人式に参加するうち南区の成人式にも参加しますか」という二つの設問に対しての回答になります。「南区も参加する」が今年は 27.6 パーセント、来年が 37.1 パーセント、全体で 32.5 パーセントという結果になります。新潟市は参加するので「南区は参加しない」という子どもたちは①で 41.4 パーセント、②で 35.5 パーセント、全体で 38.3 パーセントはで区は参加しません。「まだわからない」については、どちらも 30 パーセント前後の回答になっています。

「南区に参加する」については、白南中男子と女子とも全員が参加するという状況になっていますし、白井中男子では 66.7 パーセントと高い率で参加しますという形になっています。「南区は参加しない」は、先ほどと傾向的に同じですが、白根北中は 83.3 パーセント参加しない、白根第一中と味方中も 60 パーセントと高い確率で、新潟市に参加するので南区は参加しないという傾向になっています。

続いて、「新潟市全域を対象とした成人式には参加しないが、南区の成人式に参加しますか」という問いかけになります。「南区は参加する」が①で 47.8 パーセント、②で 41.1 パーセント、4 割の方が新潟市は参加しないのですが南区は参加すると。どちらの成人式にも参加しないのが 4 割、翌年で 5 割という、参加しない人はどちらの成人式にも参加しないという傾向かなと思っています。

続いて、8 番の新潟市全域を対象とした成人式にまだわからないうち、南区の成人式に参加しますかということで、わからない中で「南区は参加する」が①で 60 パーセント、②で 20 パーセントと、ここは極端に下がっている形になっています。まだわからない人は、どちらもわからないという傾向になると思います。参加するうち、白根第一中で、まだわからないけれども南区は参加するというのは 100 パーセントという形になっています。

続いて、9 番南区の成人式に参加するとお答えの方に伺っていますが、参加する理由は何ですかということで、来年、再来年も「地元の友だちに会いたいから」が 66 パーセント、次に多かったのが「会場が近く参加しやすい」が 33 パーセントとなっています。

続いて、ヘアメイクと着付けについて、南区の店舗を利用しますかということで、ヘアメイク、着付けとも南区内が最も多く、次いでまだわからないという回答になっています。

最後になりますが、南区の成人式に参加しないとお答えの方に伺うということですが、今年については「新潟市の全体に参加するから出ません」という人が 19 パーセン

	<p>ト、次いで多かったのが「仕事や学業で忙しいから」が 14 パーセント、次に多かったのが「成人式に関心がないから」が 9 パーセント、来年度については、これも「新潟市全体に参加するから」が多く、次に多かったのが「参加しなくても支障がないから」というアンケートになっています。</p> <p>今回の問いのところに実行委員会で企画に参加したい方という形で明記してもらった件ですが、9 人の実行委員になってもいいですよという方がアンケートに答えてもらっています。内訳としては今年が 5 人、来年が 4 人という形で実行委員会に出てもいいという申し出がありました。</p>
高橋議長	<p>説明が終わりました。まずは、今のアンケート結果の件について何かご質問等があったらお願いいたします。</p> <p>この成人式のあり方については、長年の懸案だったということもあるのですが、合併をする際に、これまで旧新潟市以外で成人式をやっていたところに関しては、旧市町村単位での成人式を継続してもいいということで、これまでやってきたわけです。ということは合併後、成人者は二つの成人式に出られるという、これはメリットなのかデメリットなのかは別として参加できたわけです。合併後 10 年以上経って、これでいいのかどうかということも踏まえて、今回のアンケートを取られたということで、ここで今、皆さん方にご意見をお聞きして、白根地区公民館の運営審議会の委員が、もう要らないよ、あるいは続けるべきだという意見を述べられても、これはまったく決定権はありません。あくまでも委員の方々がどうお考えになっているのかを事務局のほうに参考までに、それぞれの考え方をお示しいただければなという気がします。</p> <p>意見がまとまった人からお願いします。</p>
金塚委員	<p>質問もあるのですが、今、合併後旧市町村単位でというお話があったのですが、各区の成人式の状況、南区は例年出席率が低いということなのですが、どの程度低いのかというのが分からないので、何パーセントくらい出席しているのでしょうか。もしほかの区の状況も多分同じだとは思いますが、その辺りの実態が分かれば教えてもらいたいなと思います。</p>
高橋議長	<p>具体的な数字が、もし用意できなければ。</p>
金塚委員	<p>だいたいいいです。南区だけが落ち込んでいるのか。</p>
白根地区公民館長	<p>現在、合併市町村でやっているのが南区と秋葉区がございます。平成 26 年までは北区のほうでもやっていたのですが、平成 27 年からやめました。やめた理由としましては、出席率が低くなったということと成人式が荒れたということでやめております。南区の状況ですけれども、今年度は 30 パーセントでした。昨年度が 40 の前半でした。秋葉区については 50 パーセントから 60 パーセントを維持してございまして、今年度も 60 パーセントに達していると聞いております。特に、南区について今ほども申し上げたとおり、今年度は 30 パーセントでしたので人数で 400 人中の百何十人くらいの出席でした。こんな出席状況ですが。</p>
高橋議長	<p>西蒲区はやっていないわけですか。</p>

白根地区公民館 館長	やっていないです、区としては。ただ、今やっていないという話をさせていただいたのですが、実行委員会形式で本当に行政がかかわらない。ただ公民館は館を貸しているというやり方で巻のほうはやっていると聞いております。黒埼も同じようなやり方で開催しているそうです。
高橋議長	亀田、横越はやっていない。
白根地区公民館 館長	はい。
高橋議長	それを踏まえて、いかがですか。
金塚委員	実行委員会形式でできるのであれば基本的には残したほうが良いと私は思っています。アンケートにも声が出てきていますが、つまりここでしか出られない子どもたち、成人がいるので、その機会を全部取ってしまうというのはよくないのではないかなと思いますし、費用とかいろいろな面があると思うので、成人の人たちが自分たちで自主的に成人式を運営できるような方向に持っていくとか、そういう力も付けてあげるとかということで、残す方向というものを模索してもらいたいと思います。
高橋議長	ありがとうございました。 ほかに、何か。
富井委員	意見と質問があるのですけれども、まず意見に関してなのですが、私は自分が成人になったときはちょうど新潟市に合併した頃だったので、新潟市の成人式と南区の成人式二つあるよということで、私は二つ出させていただきました。そのとき感じたこととしては、両方出られて嬉しいなという気持ちだったので、私としては新潟市のほうは高校ですとか南区外の友だちと会えるというメリットがありましたし、逆に南区で開催するほうは保育園、小・中学校のときの友だちと、また新潟市には出ない友だちと久しぶりに会えるという喜びがありましたので、私もなくなってしまうのは悲しいなと。今、こんなに出席率が私たちのときよりもずっと低いのだろうなという現状があるので、実感したところで、できたら続けていきたいという方向を考えているのですけれども、先ほどのお話をお聞きしまして、9名の方が実行委員をしたいという意見をいただいたということなのですが、1点目の質問なのですが、この方たちは実際に実行委員として今後、次の成人式についての企画・運営を集まってもらって一緒にやっていくという形に具体的にになっていくような話になっているのですかというのが1点目の質問と、裏の「成人式についてご意見やご要望がありましたら自由にお書きください」というのがあって、結構さまざまな意見をいただいていると思うのですが、この中で実際、実現可能なものですか、具体的にこれをやっていったらいいのではないだろうかという意見が交わされたり、具体的にになっているようなものはこの中にあるのかなと思ひまして、それについて聞きたいと思ひました。
白根地区公民館 館長	まず、実行委員をやってもいいよという方のこれからなのですが、私どもとしまして、せっかくそう言ってくださっているのです、今年度は今まで式典のほかに、いろいろなアトラクションをこちらのほうで考えてさせてもらったのですが、その部分

	<p>を企画委員として入ってもらって一緒にやっていただけたらなと考えておまして、これからその方に連絡を取って一緒にやっていきたいなと考えております。</p> <p>意見ですけれども、こちらについてはこれから一つずつ見ていきますけれども、なかなか簡単にはいかないものもあるかなと考えております。</p>
富井委員	<p>ありがとうございました。</p>
吉田委員	<p>私は今の実行委員会のお話に出ておりましたが、そういった実行委員会として運営するという成人式は、ある程度、順序が整ってできれば理想だと思うのです。一番それがその地域にとっても理想的な成人式かと思えますけれども、なかなか難しいのではないかと思います。私個人としては新潟市が合併しているわけですから全体で一本で朱鷺メッセに行って全体でやっているのではないですか。ああいったこともあるのですが、あそこへ行くとすごいなと思うのですけれども、あれ一本でいいと私は思うのです。だから、実際に全区でやっているわけではないですよ、今のお話ですと。そういうのがありますから、方法としては会場だけ貸すという、それに実行委員会が完璧にやるというのは理想でしょうけれども、私個人としては市全体で一本というのがいいなと思っています。</p>
杉柳委員	<p>昔ほど成人式の数も減っておりますので、区でやるということ、かなり経費もかかると思うのです。私も吉田委員と同じ意見です。やっぱり新潟市ということで学校が南区だからというのも、その人の感じ方なのでしょうけれども、やはり、もし自分たちの同学年の方たちとなるとクラス会ということも可能ですし、結構毎年、区でもやっている成人式のあと皆さん集まっておられると思うのです。ですから、たとえ新潟市でやっても、また最後はみんなで集まろうという感じになるのではないかなとは思いますが。もちろん仕事の関係でどうしても出られない職種の方もいらっしゃいます。そういう全員がというとなかなか難しいと思いますので、これからはもう少しいろいろなことを考えていかなければいけないなと思います。</p>
吉田委員	<p>私も聞いたことがあるのですけれども、実際に出席した人は朱鷺メッセのそこへ出るのが非常に楽しみというか、そういう話を聞いたのです。だから、それが成人式という一つのお祭りでいいと思うのですが、いわゆる高校野球でいえば新潟県の最終的な予選の決勝はエコスタでやると。それから甲子園ですけれども、非常に成人された人も地区よりも朱鷺メッセの会場に行くのが楽しみだということを聞いたことがありますので、なおさらそんな感じがします。一本でやったほうがというところの感じがするので、補足させてもらいました。</p>
富井委員	<p>質問と意見なのですけれども、南区は5月3日でゴールデンウィークのときにやっていると思うのですけれども、これってどういった理由があって5月3日なのですか。というのは、5月3日で気候が暖かくてすごく出やすかった思い出があるのですけれども、着物をレンタルとかして振袖で行きたいという意見も多いと思うのですけれども、1月の成人式も出て5月も成人式も出てということになると、着物のレンタルですとか2回レンタルしたりとか、お母さんの着物を借りられる子だと全然大丈夫なのですけれども、2回借りるのは難しいという理由で来られない子もいるのかなと思うと、もしだ</p>

	<p>ったら1月に実施してほしいという意見もあつたりしたので、5月は暖かくて出やすかったというのがあるのですけれども、もしだったら日程の変更が可能だったら日程変更も試験的に実施してみるのもありなのかなと思つたりしたのですけれども。</p>
高橋議長	<p>ありがとうございました。 杉柳さん、さっき途中で終わったのですか。</p>
杉柳委員	<p>いいえ。全部です。</p>
高橋議長	<p>あとはいかがでしょう。</p>
山崎委員	<p>私も吉田委員とか杉柳委員と同じ意見なのですけれども、これからずっと子どもも少なくなりますから、今の白根小学校の状態を見ていたり、中学校の生徒を見ていたりすると、すごくこのラスペックホールでやるというのは本当に最初に来たときは、私たちは昔の区役所の隣でやっていたのです、ものすごく椅子もないし、何もなくて立ちっぱなしでやって、そのとき私たちはすごく人数が多かったのです。それからだんだんうちの娘二人いるのですけれども、上の子のときはまあまあ状態だったのです。ところが2番目の子になってくると自分たちもだんだん人数が少なくなってくるものだから、あんまりちょっとだな、なんて言われて、そしてその中で、やっぱり中学校の友だちと四、五人でどこかへ二次会で行くとかという固まりがあるものだから、やっぱり私も新潟の会場はすごく本当にいいと思いました。一回だけ行ったのですけれども。ここでやるのが悪いとかということではないのですけれども、あそこのところで百何十人しかいないよという、すごくさみしいかなと思つているのですけれどもね。ただ、人数が少ないからみんなで声をかけて、みんな成人式だから行きましょう、行きましょうと言って、声かけ運動をしてもなかなか個人の思いがあつて、なかなかいかないということもありますので、私もそのように一応考えております。</p>
高橋議長	<p>ありがとうございました。</p>
山崎委員	<p>でも、ここで言ったのは全然、何の効力もないわけでしょうけれども。</p>
高橋議長	<p>効力なんてあんまり気にしないで。とにかく職員の方々がこれから検討する材料として意見を提供していくということなので。</p>
笹川委員	<p>私も吉田委員の意見のほうがいいかなと思つて。新潟市全体のものところのものが二つあると、さっきのこちらの委員の方もおっしゃったように、例えば着物を借りるとかとなると、こっちも出たいし、あっちも出たいとなったときに2回も出られないなといったときに、大きい新潟市のほうに出ておこうかなという人がだんだんそっちに行くのではないかなと思つますので、新潟市かなと思つます。二つもなかなか出られない人も。</p>
今井委員	<p>私は金塚委員とまったく同意見です。新潟市一本にとつてはすごく賛成なのです。実際、自分の娘や息子たちが20年ほど前に参加したときは高校の友だちと出るので、ほとんどが新潟の高校へ行っていたので、新潟にしか出ていないのです。白根のものには参加していなかったのです。多分、新飯田のほうの子はひょっとしたら三条のほうに行くのではないかなと。三条高校とかに通つていれば高校の友だちのいるところに参加</p>

	<p>するというのが多分、多いのではないかなと思うのです、今も、20年ほど経っていますけれども、だから南区でやる必要があるのかなというのをすごく今までも疑問に思っていました。ただし、それがまったく無くなると、本当に金塚委員と同じ意見なのですからけれども、それもまたかわいそうだなと、さみしいなという気持ちもあるので、そこはやっぱり実行委員会ができるのであれば学習館を開放して、みんなで集まっていいよ、成人を祝う会みたいな感じでできたら、そうしたら中学校や小学校の友だちもみんな集まって平服で成人式の着物を着なくても、スーツを着なくても普通の格好で集まれるようなものができたらいいのではないかなと思っています。</p>
高橋議長	<p>ありがとうございました。</p>
金塚委員	<p>私は佐渡出身です。佐渡は島外へ出る者が多くて、成人式をやったのですが、真夏にやるのです。つまり夏のお盆近くでないとは戻ってこないの、とても晴れ着を着るとかできないので平服やTシャツで、ほぼ実行委員形式でみんなで集まって成人を祝おうという形でやっていたイメージがあったものですから、二十歳のときには私は新潟で成人式をやりましたけれども、そういうふうに地元で自分たちで成人を祝うような実行委員会形式ができれば一番いいのかなと思います。</p>
高橋議長	<p>ありがとうございました。あと意見を言っていないのは私だけなのですが、私が言うのは、まとめという意味ではありません、あくまで私、高橋個人としての意見ですけれども、私は式辞を2回聞くという成人式は私は異様ではないのかなという気はします。やはり行政が対象者、新成人に対して式辞を述べるのは一回でいいのかなと。となったときに、実は今、公民館がお膳立てをしているわけだけれども、新成人になって初めて社会教育、公民館と出会う場が、この成人式のはずなのに正直なところ、これまで私は成人式を社会教育に活かしていないと。集まって、はい、ありがとうございました、お帰りくださいで終わってしまうのはもったいないと思うのです。集まってきた人たちからは社会教育や生涯学習に目を向けてもらう絶好の機会なのだから、これを逃す手はないという考え方を持っています。新潟市が主催する成人式は一つにして、南区で行うものは実行委員としてやってもいいという人が、9人もおられるということなので、これを逃す手はないのではないかなという気はします。もしやるならば、成人の集いということで、たとえ人数は今よりも少なくなっても自分たちがやりたいものを自分たちで企画をして、みんなで祝おうよと。行政は何をするのかという案内を差し上げるくらいは行政がお手伝いをしますよということで、お金のかかることについては、相談してよと。そういった社会教育と触れ合う場として、これをやはり公民館は活かしていくという事業展開を考えていったほうがいいのかというのは私の個人的な意見です。</p> <p>ひととおり皆さん意見を述べていただきました。本当にありがとうございました。成人式は多分、職員の方々は相当、これはやるべきか、やらざるべきか悩んでいらっしゃると思うのです。それと今ほどおっしゃるように片方は成人の日に近い絶好の晴れ着姿で行けるわけだから、南区でやるのはやはりTシャツで参加できる時期を選ぶべきのかなという気もしています。2回とも晴れ着を着て望むものではないのではないかな</p>



	<p>と思いました。活発なご意見をいただきました。これは言いつ放しで終わらせていただきますので、よろしく申し上げます。</p>
<p>(4) 公民館事業の課題について</p>	
高橋議長	<p>議題(4) 公民館事業の課題についてですが、7月の第1回の運営委員会のときに、杉柳委員から、いくつかの事業があるけれども、あるいはこれが課題なのだけれども、これが障害になってできないものなのかという、ディスカッションの場を設けてはという提案をされたわけでありまして、このことについて事務局から説明をお願いします。</p>
白根地区公民館長	<p>何点か用意した中に、今ほどご意見を伺いました成人式の件があったのです。大変ありがとうございました。あと3点ほど皆さんからご意見をいただきたいなと思うものがありますのでお願いいたします。</p> <p>1点目は「学習館まつり」についてご意見をお願いいたします。</p>
事務局	<p>「学習館まつり」を担当しております茅原と申します。先ほど事業計画でも報告させていただいたのですが、白根学習館まつりは学習館や地域で活動している創作活動団体や芸能団体などが一堂に会して、日ごろの練習の成果を発表する機会となっております。地元住民の方も鑑賞する機会として、また各出演団体の交流を促す地域の文化活動の振興や発展に寄与しているものとなっております。平成22年からは白根文化協会と白根学習館まつり実行委員会が主催となりまして、白根地区公民館は共催として運営を行っております。今年度の参加団体数なのですが、作品展示は陶芸サークルや写真サークルなどの5団体、芸能発表会はダンスやコーラス、舞踊団体などの40団体でした。芸能発表会は参加団体数も多く、出演者数の延べ人数は470人と、子どもから大人、高齢者まで多くの方が参加してくださっております。しかし、課題としては作品展示部門参加団体数が5団体と少なめであり、来館者数も減少傾向であるため、今後どうしていったらいいものかということが課題としてあります。</p>
月潟地区公民館長	<p>月潟の課題ですけれども、皆さんのほうにレジュメで、減少している児童向け講座の受講者数というもので、今日配付した分です。月潟の公民館では、これからの公民館の利用者数を確保するというところで若い人や子どもたちから公民館に慣れ親しんでほしいということで、ここに挙げてあります児童向けの講座を開催しております。ただ、年々子どもの数が減っていることとか、ほかのスポーツ少年団とか、習い事に行っていることもありまして、過去3年間、三つの講座をやっておりますけれども、だんだん参加者数が減ってきているということで、それが悩みといたしますか課題でございます。</p> <p>事業としては、チャレンジキッズということで、これは子ども体験活動を通じて視野を広げて協力することの大切さを学ぶということで、平成27年はサイクリング、レッツダンス、科学工作。今年はサイクリング、アグリパークで参加者が5名。陶芸に挑戦しようということで田上の石田先生から来ていただきまして陶芸をやりました。来月3月17日に「虹色おり鶴と万華鏡を作ろう」ということで今、募集をかけていますけれども、その辺の事業をやっています。</p> <p>二つ目は、世代間交流として世代を超えて声をかけ合える地域の創造を目指して事業</p>

	<p>は、おじいちゃん、おばあちゃんを対象にして昨年は「ペットボトルロケットを作ろう」、和風と流しそうめん、12月にはクリスマスリースと餅つきということで、参加募集のチラシも今日の資料にもつけておりますけれども、このような事業をしております。</p> <p>最後に、③の「おんがくっ子塾」ということで、楽器の演奏方法や読譜の指導によって地域の人たちと音楽を通じて子どもを育んでいこうということで、これは平成21年から新潟市の音楽ネットワークの先生方からご指導をいただきまして、全8回開催して平成27年度、平成28年度が20名の児童の参加をいただきまして、練習の成果を11月の芸能祭と2月の歴史探訪のほうで子どもたちが来て、琴の演奏やハンドベルの演奏をご披露していただきました。要するに「おんがくっ子塾」は昨年20名で今年11名ということで、学校に月潟小学校をはじめ、近隣の茨曽根小学校、新飯田小学校、白根小学校まで募集のチラシをかけて、去年参加してくれた児童の方に夜電話をして参加してくださいというお願いをするのですけれども、だいたい高学年になりますと習いごとを始めたとかということで今年に行けないということで、私が一番危惧しているものは「おんがくっ子塾」が去年20名の児童が参加して今年は10名しか参加していない。そうすると来年平成30年の事業の予定をしているのですけれども、この辺が非常に私は危機感を持って今日、委員のほうから何か課題があったから出してくれということで、委員の皆さんから今日、ご意見やアイデア、そしてパワーをいただきたいと思って、このレジュメを提出しましたので、ひとつよろしく申し上げます。</p>
高橋議長	<p>前回の杉柳委員から事業の中で障害になっているもの、あるいは課題はどんなものがあるかということで、今回は公民館のほうから三つ。三つのうち、成人式についてはそれぞれご意見をいただきましたので、学習館まつりの参加団体や来館者数が減ってきていると。それから月潟もいい事業をやっているのだけれども、なかなか子どもたちから集まってもらえない。その理由としては、ここに書いてあるものが想定されるという中で、委員の方々からご質問と、それから、こんなふうなアイデアはどうかというものがあったらお聞かせいただければと思います。せっかくいい事業をやっているのに、子どもたちがなかなか集まらないというのは、残念です。金塚委員、何かアドバイスございませんか。</p>
金塚委員	<p>まず、子どもたちがこれに参加したいということで行くときの足がどうなっているのか。つまり歩いて行ける場所にあるのかということで、広範囲にチラシを配っても自分一人で行けないのであれば親にどうしても頼まなければいけない状況になると、多分来られないだろうなと思います。それが一つです</p>
月潟地区公民館長	<p>①と②は主に月潟小学校の児童が月潟の公民館に来て参加しますので、特に交通手段については問題がないかと思います。ただ、③の「おんがくっ子塾」については月潟小学校の児童だけでなく、庄瀬小学校とか白根小学校の方からも参加してもらっていますので、やはり親御さんの送り迎えで練習している間はお父さん、お母さんが練習場で待っているという形です。</p>
金塚委員	<p>子どもの参加を促したい、出席率を上げる方法はいくつかあると思うのですけれども、学校がプッシュすると子どもはたくさん来ます。参加しようという。ただ、全部に</p>

	<p>行けとは言えないので選択と集中ではないですけども、「この行事は」とプッシュしてもらおうというのが一つありますし、うちは学舎根岸をやらせていただいています、PTAの行事とぶつけるとか、もしくはここで作ったものを学校の文化祭に出しますとか、クラブ活動的に発表しますとかという連携をするような形を取っていけば、自動的に増えてくると思いますが、それは学校との相談が必要になってくるのかなと思います。</p>
月潟地区公民館 館長	<p>ありがとうございます。</p>
高橋 議長	<p>いいアドバイスありがとうございました。</p>
吉田 委員	<p>私もそう思うのですが、今、先生のお話を聞いたように、学校からかなりバックアップしてもらおうということが一番いいことかなと思うのです。それと小さいお子さんもいらっしゃるようで、私は仕事から会場に来ることがありますから、やっぱり保護者の方の協力です。保護者を取り込むといいますか、ある程度の大きさの子どもになると子ども同士で行こうということになるのでしょうか、もう少し小さいとなかなかそこまで望めないと思うのです。だから、保護者の方が理解して、あそこの子もやっているから、あなたも行こうよということで、保護者が一生懸命やるところが一番いいのではないのでしょうか。そういう良い点が月潟にはあります、例の角兵衛獅子ですけども、何十人かの子どもたちが毎週土曜日に練習していますが、びっくりするのは保護者が必ず一生懸命ですからね。でもそれは夫婦でお母さん、お父さんと二人で来る人もいますから、7時半くらいから10時前までやっていますけれども、そういうものを見ると、やっぱり保護者を取り込むのが一番、二番かなと。学校の協力をいただくのが一番かなという気がしますね。</p> <p>先ほどからこんな声で申し訳ないのですけれども、喉の調子が悪くて、前にもあったのですが、私の仲間でも悪い病気で逝ってしまった者もいたものですから、いろいろ調べてもらったのですが異常がないということでホッとしているのですが、先生にどうしてなのかといういろいろ聞いたのですが、ある程度人間歳になると声帯というのは真っ直ぐこうなっていって、アイウエオで開くらしいのですが、歳でその人によっては歪んで、声がかすれてうまくないのだということらしいです。どうしてそうなるのですかと聞いたのですけれども、最終的には加齢ではないかなと。加齢という答えしか返ってこなかったのですが、異常がないということでホッとしているのですが、皆さんには聞きづらい声で申し訳ないと思っています。そんなところでよろしくお願いします。</p>
富井 委員	<p>学習館まつりの作品展示の数が少ない件なのですけれども、ほとんど金塚委員と同じような意見になってしまうのですけれども、学校を巻き込むというか、学校からのプッシュがあると、というお話だったので、味方の地区芸能祭、文化祭をやっているのですけれども、うちは味方児童館で子どもたちが児童館で作った作品を味方の地区文化祭で発表の機会をいただいているので、学校だけではなくて例えば白根の児童館ですとか児童センターがあると思うので、そういうところで子どもたちにたくさん作</p>

	<p>品も作っているのですが、そういう団体にも協力してもらって作品を増やすというのもありなのかなと思いました。</p> <p>もう1点、減少する児童向け講座の受講者数の「おんがくっ子塾」なのですけれども、期日は9月から2月となっているのですけれども、私は児童館で働いていても子どものイベントの参加人数が気になっているのですけれども、冬場は先ほどおっしゃられたように親御さんの足がないと子どもが動けないというのが大きな課題だと思うので、冬場は特に親御さんも動きにくかったり、面倒くさがったりというものもあるかもしれないので、可能であれば期日の変更を検討するというのも一つありなのかなと感じました。</p>
高橋議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>かなり時間が迫ってまいりましたので、もう一、二点ありましたらお願いします。</p> <p>無いようですので、いろいろとご意見ありがとうございました。私、前にも言った記憶があるのだけれども、せっかく学習館は区バスが全部ここに発着するのですよ。発着する場所にあるわけで、これをなんで公民館事業のパンフレットの中に一つも、「この事業をするには、この区バスを利用なさるとお出でいただけます。帰りはこのバスをご利用いただけます」と、これをなぜ情報提供しないのかなと。そうすれば区バスも利用されるし、足が確保できない人も利用されるということで、区バスを利用すべきではないのかなと。あるいは循環バスで何時のバスに乗ると便利ですよということで、一つのパンフレットの中には「お集まりください、何時からやります」だけではなくて、その中には情報がいっぱい詰まっていたほうがいいですよ。足を考えている方は、このバスをぜひご利用くださいと。100円、200円ですので、そういった意味では、それも一つの情報提供ということとするならば情報をチラシの中に入れるというのも面倒かもしれないけれども、考えてもらったほうがいいかと、先ほどの金塚委員の話を聞いて補足させていただきました。議長があまり発言してはいけないと思うのですが、すみません。全般をとおして何かどうしてもこれを言っておきたい、あるいは何かご質問等がありましたらお願いしたいと思います。</p>
笹川委員	<p>いろいろな公民館で活動をやっていることでも、チラシなのですけれども、学習館に来ないと分からない。学習館に来るといろいろな事業をやっているチラシがいっぱい並んでいますけれども、学習館にしょっちゅう来る人は分かるのだけれども、そうでない人は分からなかったという人が多いと思うのです。そういうチラシをみんなが行くような例えば郵便局とか商店とか、もし掲示して置いていただければ少なくとも多く置いてもらうといいのではないかなと思います。ああ、こんなことがあったのだと思うと行くのですよね。学習館に行かないから、そういうものは分からないわというのも聞きますので、できたらいいと思うのですけれども、お店の協力をもらったり、みんな貼ってもらえるわけでもないかもしれないけれども、お願いします。</p>
高橋議長	<p>ありがとうございました。</p>
吉田委員	<p>悪いことばかりではなくて非常にいいこともあるのですけれども、この中に味方の公民館のチラシが入っていました。男の社会見学というチラシが入っていましたが、これに出席した人のお話を何人かに聞いたのですけれども、非常に大絶賛されていて、</p>

	<p>その一つは、いわゆるマイクロバスでみんな乗せてもらってあちこち回ってもらえるよと。その辺りでコミュニケーションがとれるということで、非常に喜んでいらっしゃいました。そして研修する場所によっても、なかなか個人で行っては説明を聞いたりすることができないようなところでも、こういう研修の会で公民館が主催だと書いて行くと、いろいろガイドしてくれたり説明してもらえるとということで非常に分かりやすいと。</p> <p>もう一つは、普段行けない人、ここに新潟薬科大学がありますが、この中に学生の学食があるのですけれども、それも食堂で昼飯を食べてきたと。初めて大学の学食で食べたということで、大変おいしかったというお話をされていましたが、それすら個人ではなかなか行く機会がないと。こういう会があったから、そういう体験もできたということで、一個人として難しいところでも、こういうものに参加すればいろいろな面で助かると。また、新津のまちなかでは、まちなかガイドの人たちが新津のまちをずっと歩いて案内してくれたと。今までない体験ができたということで、これからも場所を変えて引き続きやっていただけたら、仲間を誘ってでも行きたいなという、大変良いお話を聞いたのでご紹介しようと思ったわけです。</p>
高橋議長	<p>ありがとうございます。ほかに、ございませんか。</p> <p>長時間にわたり活発にご議論いただきまして、ありがとうございます。予定されていた議題については終了いたしましたので、事務局と交替させていただきます。</p>
その他（連絡事項等）	
事務局	<p>議長、大変ありがとうございました。</p> <p>次第5のその他連絡事項に移ります。最初に、味方地区公民館の図書室と分館長について、味方地区公民館長から説明をお願いします。</p>
味方地区公民館長	<p>連絡事項ということで私から2点説明させていただきます。1点目はお手元にチラシを配付しましたがけれども、「休室日・開室時間変更のお知らせ」ということで、味方地区図書室の休室日・開室時間の変更でございます。左側のほうが変更前ということで現在は出張所が土日、夜間を含めて開庁しているものですから、今の図書室は休室日が年末年始だけ、それからそれ以外は午前9時から午後9時半まで開室していますということです。これは無人で開室しているということでございますので、こういうことができたということですが、ご案内のように4月1日から出張所の夜間の受付、それから土日の受付が無くなります。出張所が閉鎖することになりますので、それに合わせて図書室も閉室になってしまうということで変更後を見ていただきたいのですけれども、休む日は日曜、祝日、年末年始。それから開室時間も平日は9時から夕方5時までということでございます。ただ、出張所と同じように休んでしまうと土日も休むということになりますと、利用者の方が土日しか行けないという方もいらっしゃるのです、出張所は土曜日休むのですけれども、図書室は何とか土曜日を開室したいということで今、協議を詰めまして、土曜日につきましては、9時から午後3時までの6時間、昼休みなしで、この時間は開けておきたいなということで今、調整が整いまして、来年度は51週あるのですけれども、51回だけ土曜日を開室したいということでございます。それから、一</p>

	<p>番下が開室時間外で図書を返却したいという方もいらっしゃいますので、これについては裏口に返却ポスト、郵便受けに入れていただいても構わないというふうに設置したいと思っておりますので、こういう対応をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>もう1点は、資料はございませんけれども、分館長についてです。味方地区には西白根、それから味方、七穂という3分館がございます。こちらはそれぞれ地元の方にお願ひして、地元の方3名を委嘱しまして分館長という形でお願ひしているところです。しかしながら合併しまして、事務的なもの、合併する前は受付やら講座の開設やらを全部、分館長にお願ひしていたのですけれども、合併しまして、私ども役所の職員といいますか味方地区公民館の職員が一元的に管理をする形になりましたので、分館長にお願ひする仕事も減ってきたということもございまして、平成30年度、この4月から委嘱をしないということで分館長を置かないという形にさせていただきます。これは新潟市のほかの分館、25分館あるのですけれども、そちらも全部、分館長を置いておりませんので、ほかのところを見ても分館長がないという状況ですので、味方につきましても3名の分館長を平成30年度から委嘱しないということで対応させていただきたいということでご報告させていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、11月に行う正副議長会議の報告について館長からお願ひします。</p>
白根地区公民館館長	<p>昨年11月14日に行われました平成29年度第1回公民館運営審議会正副議長会議がありましたので報告させていただきます。出席者については市内8区の基幹公民館の運営審議会正副議長と館長、それと新潟市の生涯学習センターの所長が出席いたしました。</p> <p>まず、会議は公民館の現況についての説明がありました。本日お配りしました資料で、正副議長会議資料ということで、これは当日の資料の一部なのですけれども、こちらの体系図から見ていただきたいと思います。こちらの表を見ますと今ほど味方の館長の話にありました南区の分館、味方公民館、西白根公民館、七穂公民館があります。これが今回、分館長の廃止をする3館となります。</p>
味方地区公民館館長	<p>私、「地区公民館25、分館19」というのを、「分館25」と言ってしまいましたけれども、分館は19分館ございました。訂正させていただきます。</p>
白根地区公民館館長	<p>新潟市内には今ほど話にありましたけれども、八つの基幹公民館を含め25の地区公民館と19の分館がございます。真ん中にあります公民館の名前の脇に、括弧がありますが、これが職員の数になります。最初に書いてあるのが正職員、再任用の職員の数と、次に書いてあるのが嘱託の数ということになります。その裏面を見ていただくと公民館の稼働率の推移という表がございます。平成28年度、全体平均で36パーセント、分館平均で14.6パーセントという稼働率になっております。低いところでは1桁台の分館、地区公民館がある状況になっております。</p> <p>これらの状況を踏まえて、当日は講座の受講者の費用負担についてということで意見交換がありました。特に家庭教育学級のゆりかご学級についての意見が何点かありまし</p>

	<p>たのでご紹介させていただきます。「家庭教育は一般の人が最初に公民館にかかわる場であり非常に重要である」、「受講者の参加の意欲があれば応分の自己負担は必要なのではないか」、また、「年収 120 万円以下の一人親世帯にとって負担になるので配慮が必要ではないか」、「ゆりかご学級については最後に手を付けてほしい」という要望もありました。「ゆりかご学級の保育料の前に学びの対価として費用負担であれば別の部分からではないか」という意見がありました。また、そのほかの意見としましては、「公民館の講座参加は孤立を防ぐための仲間づくりの大切な場である。行きやすい環境づくりを保持してほしい」、また、「一人親の配慮は必要だが、他の講座では徴収は必要に応じていくべきではないか」、「公民館は親が学ぶ場所を提供していくべきである」、また、「利用者から徴収する前に社会福祉協議会などを連携などをして横のつながりで財源確保していくべきではないか」、「市民のニーズに合っていれば受講者は集まる。無料でも魅力のない事業は人がこない」、「目的や対象によって柔軟に対応したり、住み分けすることも必要ではないか」という意見がございました。</p> <p>公民館としましては、最初のあいさつの中にもお話しさせていただいたのですが、本当に財政的に厳しい状況です。また、稼働率を見ますと本当に残念なことになかなか利用されていない館も多々あります。このような状態の中で公民館としましては、公民館のあり方ということで前々から皆様からご意見をいただいておりますけれども、二枚看板にしたり、または公民館の指定管理や管理業務委託など、または今ほど意見を報告させていただきましたけれども、講座の有料化とか保育の協力費などというようなことを考えておりますので、今日は皆さんからご意見をいただく時間もなくて、意見をいただけないのですけれども、これらのことについてご意見がありましたら、いつでも申し出ていただきたいと思います。報告は以上ですが、出席されました高橋委員、今井委員、補足がありましたらお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>最後になりますが、今日お配りした三つの地区公民館のパンフレットと全体のパンフレットなのですが、ご意見がありましたら、あとでよろしいですので公民館まで、ここはこうじゃないよというのがあれば教えていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。お気付きの点がありましたら何なりと公民館に言っていただきたいと思います。</p> <p>長時間のご審議、大変ありがとうございました。これをもちまして、本日の運営審議会を終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。</p>
<p>9 閉会</p>	